



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年2月7日

上場会社名 株式会社 セプテーニ・ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 4293 URL <http://www.septeni-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 グループ社長執行役員 (氏名) 佐藤 光紀

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 専任次長 (氏名) 曹 永一 TEL 03-6857-7258

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・報道関係者向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	3,586	8.2	771	△20.2	747	△25.1	1,420	127.2	1,410	122.8	1,777	87.3
28年9月期第1四半期	3,315	—	966	—	998	—	625	△38.5	633	△39.1	949	△12.3

(注) 1 Non-GAAP営業利益 29年9月期第1四半期 815百万円 (△16.2%) 28年9月期第1四半期 972百万円 (—)

2 アクセルマーク及びその子会社の業績を非継続事業に組換表示しているため、収益、営業利益、Non-GAAP営業利益及び税引前利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。なお、平成28年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、平成27年9月期第1四半期の業績を組替表示していないため表示しておりません。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	10.92	10.86
28年9月期第1四半期	4.88	4.85

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	28,660	15,150	14,878	51.9
28年9月期	29,981	15,046	14,156	47.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	—	—	16.00	16.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期第2四半期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	収益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,486	9.0	1,840	36.9	14.34

・Non-GAAP営業利益：1,455百万円（前年同期比△30.1%）

(注) 通期の業績予想に代えて翌四半期累計までの業績予想を開示しております。収益及びNon-GAAP営業利益の対前年同四半期増減率については、アクセルマーク及びその子会社の業績を非継続事業に組み替えた前年同期実績をもとに算出しております。詳細は、決算短信（添付資料）「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご参照ください。

※注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ①IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ②①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	138,669,500株	28年9月期	138,641,500株
②期末自己株式数	29年9月期1Q	10,724,155株	28年9月期	8,924,155株
③期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	129,057,954株	28年9月期1Q	129,586,335株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 株式分割について

当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。このため、基本的1株当たり四半期利益、希薄化後1株当たり四半期利益及び期末発行済株式数等については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(3) 配当予想金額に関して

平成29年9月期の配当予想に関しましては、通期の業績予想について開示が可能となった時点で配当予想額についても速やかに開示いたします。なお、配当予想の開示を行う時期としましては、平成29年9月期第3四半期決算発表の時点を見込んでおります。

(4) 決算補足説明資料の入手方法

当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ウェブサイトに掲載しております。また、決算説明会の動画等については、後日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

・平成29年2月7日（火）・・・機関投資家・アナリスト・報道関係者向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結純損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
①継続企業の前提に関する注記	11
②セグメント情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下「当四半期」という。)においては、主力のネットマーケティング事業が国内は堅調に推移したものの、海外における取扱高が伸び悩んだことが影響し、増収減益となりました。メディアコンテンツ事業については、マンガコンテンツ事業を中心に収益が拡大いたしました。先行投資を積極的に実施したこと等により前期に引き続き営業損失を計上しております。一方、2016年9月期においてノンコア事業に分類していたアクセルマーク株式会社について、当社保有株式の一部を2016年11月10日付で売却したことに伴い、同社及びその子会社は当社の連結対象から除外されるとともに、当該株式売却に係る一時的な利益を中心に当四半期において非継続事業からの四半期利益883百万円を計上いたしました。

これらの結果、収益は3,586百万円(前年同期比8.2%増)、Non-GAAP営業利益は815百万円(前年同期比16.2%減)、営業利益は771百万円(前年同期比20.2%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,410百万円(前年同期比122.8%増)となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ネットマーケティング事業

インターネットを活用した包括的なマーケティング支援サービスを企業向けに展開しております。具体的には、スマートフォン向けを中心としたインターネット広告の販売をはじめ、自社サービスとしてクラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等のマーケティングプラットフォームの運営を手がけております。

当四半期においては、スマートフォン向け運用型広告を中心とするネット広告市場の拡大を背景に、積極的な営業活動を展開し業容拡大を図りました。その結果、国内市場においては堅調に推移し、成長分野であるスマートフォン広告を中心に取扱高を伸ばさせることができました。一方、海外においては、東南アジアトップクラスのデジタルエージェンシーLion Digital Global LTDを2016年10月に連結子会社化したことが寄与したものの、既存の大型案件の出稿減が影響し取扱高が伸び悩みました。

これらの結果、収益は3,434百万円(前年同期比5.8%増)、Non-GAAP営業利益は1,166百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

② メディアコンテンツ事業

「マンガコンテンツ事業」では、自社IP(知的財産)の企画・開発を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を自社メディアとして運営しております。その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用プラットフォーム事業」、「社会貢献プラットフォーム事業」、「医療プラットフォーム事業」等を展開しております。

当四半期のマンガコンテンツ事業においては、マンガアプリ「GANMA!」の規模拡大のためのマーケティング投資を強化いたしました。その結果、GANMA!のユーザー数は大幅に増加し、アプリの累計ダウンロード数は2016年12月末時点で約449万件と前年同期に比べ約2倍にまで拡大いたしました。また、GANMA!に掲載される広告の販売も順調に推移し、広告収益を中心とするアプリ収益は前年同期比約5.1倍に伸びました。

一方、その他の各種新規事業も概ね堅調に推移いたしました。

これらの結果、収益は206百万円(前年同期比76.6%増)、Non-GAAP営業損失は219百万円(前年同期は194百万円のNon-GAAP営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて、1,321百万円減少し、28,660百万円となりました。これは主に、のれんが1,720百万円及び持分法で会計処理されている投資が1,404百万円増加した一方で、現金及び現金同等物が3,478百万円減少したことによるものであります。のれんの増加は、Lion Digital Global LTDの株式96.01%を現金により取得し、当該買収に伴い、のれんを計上したことによるものであります。また、持分法で会計処理されている投資の増加は主に、当社が保有するアクセルマーク株式を一部売却したことにより、同社及びその子会社が当社の連結対象から除外され、持分法適用関連会社となったことによるものであります。

負債については、営業債務が406百万円及び未払法人所得税が1,110百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて1,425百万円減少し、13,510百万円となりました。

資本については、自己株式の取得630百万円及び配当金の支払により415百万円減少した一方で、四半期利益の計上1,420百万円等により、前連結会計年度末に比べて104百万円増加し、15,150百万円となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当四半期末における「現金及び現金同等物」は前連結会計年度末に比べて3,478百万円減少し、12,003百万円となりました。

当四半期における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当四半期において営業活動の結果、880百万円の資金流出（前四半期は129百万円の資金流入）となりました。

これは主に、継続事業からの税引前四半期利益747百万円を計上した一方、法人所得税の支払い1,169百万円及び運転資本398百万円の減少があったことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当四半期において投資活動の結果、1,775百万円の資金流出（前四半期は30百万円の資金流出）となりました。

これは主に、有価証券の取得及び売却によるネットの資金流入244百万円（有価証券の取得による資金流出55百万円、売却による資金流入299百万円）があった一方、支配喪失を伴う子会社株式の売却による資金流出が585百万円及び支配獲得を伴う子会社株式の取得による資金流出が1,373百万円が発生したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当四半期において財務活動の結果、899百万円の資金流出（前四半期は55百万円の資金流出）となりました。

これは主に、自己株式の取得による資金流出が630百万円及び配当金の支払い415百万円が発生したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、四半期ごとの業績発表時に翌四半期までの業績予想を公表しております。

2017年9月期第2四半期（1-3月）においては、主力のネットマーケティング事業は、前四半期比では増収増益、前年同期比では増収減益となる見通しです。メディアコンテンツ事業については、マンガコンテンツ事業を中心に大幅な増収を見込んでおりますが、事業の黒字化に向けたGANMA!の規模拡大と認知度向上のための大型プロモーションを2017年3月に予定しており、先行投資費用が大幅に増加するため、営業損失は一時的に拡大する見通しです。

このような状況を踏まえまして、本笔下記のとおり2017年9月期第2四半期連結累計期間の業績予想を公表いたしました。

なお、当該業績予想は、2017年9月期第1四半期連結累計期間の実績値に第2四半期連結会計期間の業績見通しを加算したものとなっております。

2017年9月期第2四半期連結累計期間業績予想(2016年10月1日～2017年3月31日)

収益	7,486百万円
Non-GAAP営業利益	1,455百万円
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,840百万円

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(注) 2016年11月10日付でアクセルマーク株式を一部売却したことにより、同社及びその子会社は当社の連結対象から除外され、持分法適用関連会社となりました。なお、同社は、2015年11月9日時点において、当社がアクセルマーク普通株式を一部売却した際に財務諸表等規則第8条第3項に規定する当社の子会社に該当しないこととなり、すでに「特定子会社の異動」が生じておりましたので、当四半期連結累計期間においては「連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動」は発生していません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2016年9月30日)	当第1四半期 連結会計期間 (2016年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	15,480,970	12,003,069
営業債権	9,982,708	9,657,408
棚卸資産	118,517	7,722
その他の金融資産	443,788	264,209
その他の流動資産	242,480	178,203
流動資産合計	26,268,463	22,110,611
非流動資産		
有形固定資産	363,519	398,948
のれん	147,491	1,867,972
無形資産	232,261	215,125
持分法で会計処理されている投資	611,991	2,016,063
その他の金融資産	1,673,251	1,362,722
その他の非流動資産	3,743	12,651
繰延税金資産	680,225	675,933
非流動資産合計	3,712,481	6,549,414
資産合計	29,980,944	28,660,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2016年9月30日)	当第1四半期 連結会計期間 (2016年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	9,652,601	9,246,735
その他の金融負債	1,728,525	2,430,884
未払法人所得税	1,236,846	127,159
その他の流動負債	1,573,264	1,369,194
流動負債合計	14,191,236	13,173,972
非流動負債		
その他の金融負債	654,867	17,717
引当金	88,454	82,784
その他の非流動負債	518	—
繰延税金負債	—	235,310
非流動負債合計	743,839	335,811
負債合計	14,935,075	13,509,783
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	2,085,004	2,088,000
資本剰余金	3,617,269	3,620,265
自己株式	△485,685	△1,116,137
利益剰余金	8,815,259	10,014,101
その他の資本の構成要素	123,875	271,411
親会社の所有者に帰属する 持分合計	14,155,722	14,877,640
非支配持分	890,147	272,602
資本合計	15,045,869	15,150,242
負債及び資本合計	29,980,944	28,660,025

(2) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年10月1日 至 2015年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)
継続事業		
収益	3,315,080	3,586,354
売上原価	319,992	363,673
売上総利益	2,995,088	3,222,681
販売費及び一般管理費	2,031,229	2,407,106
その他の収益	8,554	3,196
その他の費用	6,854	47,862
営業利益	965,559	770,909
金融収益	8,314	11,976
金融費用	3,368	86,405
持分法による投資利益(△は損失)	27,283	50,606
税引前四半期利益	997,788	747,086
法人所得税費用	313,524	209,961
継続事業からの四半期利益	684,264	537,125
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益 (△は損失)	△59,223	883,123
四半期利益	625,041	1,420,248
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	632,703	1,409,539
非支配持分	△7,662	10,709
合計	625,041	1,420,248
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円) (△は損失)		
継続事業	5.11	4.00
非継続事業	△0.23	6.92
合計	4.88	10.92
希薄化後1株当たり四半期利益(円) (△は損失)		
継続事業	5.08	3.97
非継続事業	△0.23	6.89
合計	4.85	10.86
売上高	17,260,147	18,448,295

営業利益からNon-GAAP営業利益への調整表

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年10月1日 至 2015年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)
営業利益	965,559	770,909
その他の収益	—	931
その他の費用	6,792	44,777
Non-GAAP営業利益	972,351	814,755

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年10月1日 至 2015年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)
四半期利益	625,041	1,420,248
その他の包括利益		
純損益に組替調整されない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	320,407	49,912
純損益に組替調整される可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	3,439	299,336
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	5,511
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2,166
その他の包括利益合計(税引後)	323,846	356,925
四半期包括利益合計	948,887	1,777,173
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	951,821	1,755,444
非支配持分	△2,934	21,729
四半期包括利益	948,887	1,777,173

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2015年10月1日時点の残高	2,070,160	3,160,951	△485,012	6,495,103	65,966	11,307,168	984,604	12,291,772
四半期利益	—	—	—	632,703	—	632,703	△7,662	625,041
その他の包括利益	—	—	—	106,060	213,058	319,118	4,728	323,846
四半期包括利益合計	—	—	—	738,763	213,058	951,821	△2,934	948,887
新株発行	2,388	2,388	—	—	△4,750	26	—	26
剰余金の配当	—	—	—	△362,825	—	△362,825	—	△362,825
自己株式の取得及び処分	—	—	△327	—	—	△327	—	△327
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	108,751	—	—	—	108,751	72,945	181,696
支配喪失を伴う子会社に 対する所有者持分の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	△1	—	△16,796	13,424	△3,373	7,301	3,928
所有者との取引額等合計	2,388	111,138	△327	△379,621	8,674	△257,748	80,246	△177,502
2015年12月31日時点の残高	2,072,548	3,272,089	△485,339	6,854,245	287,698	12,001,241	1,061,916	13,063,157

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2016年10月1日時点の残高	2,085,004	3,617,269	△485,685	8,815,259	123,875	14,155,722	890,147	15,045,869
四半期利益	—	—	—	1,409,539	—	1,409,539	10,709	1,420,248
その他の包括利益	—	—	—	—	345,905	345,905	11,020	356,925
四半期包括利益合計	—	—	—	1,409,539	345,905	1,755,444	21,729	1,777,173
新株発行	2,996	2,996	—	—	△5,796	196	—	196
剰余金の配当	—	—	—	△415,096	—	△415,096	—	△415,096
自己株式の取得及び処分	—	—	△630,452	—	—	△630,452	—	△630,452
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
支配喪失を伴う子会社に 対する所有者持分の変動	—	—	—	—	△2,873	△2,873	△638,394	△641,267
その他	—	—	—	204,399	△189,700	14,699	△880	13,819
所有者との取引額等合計	2,996	2,996	△630,452	△210,697	△198,369	△1,033,526	△639,274	△1,672,800
2016年12月31日時点の残高	2,088,000	3,620,265	△1,116,137	10,014,101	271,411	14,877,640	272,602	15,150,242

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年10月1日 至 2015年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前四半期利益	997,788	747,086
非継続事業からの税引前四半期利益	△15,459	1,285,046
調整項目：		
減価償却費及び償却費	50,312	53,285
受取利息及び受取配当金	△1,442	△1,023
支払利息	591	6,438
持分法による投資損益(△は益)	△27,283	△50,606
支配喪失に関連する損益(△は益)	—	△1,355,462
その他	△171,891	8,127
運転資本の増減：		
営業債権の増減額(△は増加)	△84,941	99,995
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,107	△7,238
営業債務の増減額(△は減少)	237,680	△365,724
その他	△148,538	△125,364
小計	819,710	294,560
利息及び配当金の受取額	1,442	1,023
利息の支払額	△540	△6,417
法人所得税の支払額	△691,210	△1,169,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,402	△879,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	159,250	299,051
有価証券の取得による支出	△130,300	△54,960
有形固定資産の取得による支出	△53,298	△59,290
無形資産の取得による支出	△18,054	△5,788
支配喪失を伴う子会社株式の売却による 支出(処分された子会社の現金控除後)	—	△585,149
支配獲得を伴う子会社株式の取得による 支出(取得された子会社の現金控除後)	—	△1,373,410
その他	12,488	4,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,914	△1,775,255
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	106,583	191,646
長期借入金の返済による支出	△41,664	△44,414
配当金の支払額	△362,825	△415,096
支配喪失を伴わない子会社に対する 所有者持分の変動による収入	234,900	—
非支配持分への配当金の支払額	△1,672	△880
自己株式の取得による支出	△327	△630,452
その他	10,026	196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,979	△899,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,165	76,281
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	52,674	△3,477,901
現金及び現金同等物の期首残高	11,694,507	15,480,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,747,181	12,003,069

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

①継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

②セグメント情報

イ. 報告セグメントの概要

当社グループは、当社を持株会社とし、当社の子会社（又はそのグループ）を事業単位とする持株会社体制を採用しております。収益獲得に関する直接的な活動は、専ら当社の子会社（又はそのグループ）から構成される事業単位によって行われます。

当社グループの報告セグメントは、事業単位の中から、分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に、各事業セグメントの経済的特徴の類似性及び量的重要性等を考慮し、当社グループの事業活動及び事業を行う経済環境の性質や財務的な影響を財務諸表利用者が適切に評価できるよう、「ネットマーケティング事業」及び「メディアコンテンツ事業」の2つの報告セグメントに集約・区分して開示しております。

i. ネットマーケティング事業

インターネット広告の販売、ウェブソリューション（サイト構築・運用、SEO等）、アドネットワーク、クラウド型CRMサービスの提供等、企業向けのインターネットマーケティング支援全般の事業を営む単一の事業セグメントから構成されています。

ii. メディアコンテンツ事業

マンガコンテンツ事業、採用プラットフォーム事業、社会貢献プラットフォーム事業、医療プラットフォーム事業等、デジタルメディア上のコンテンツ配信事業又はプラットフォーム事業からなり、複数の事業セグメントから構成されています。メディアコンテンツ事業には、将来の収益獲得に向けた投資が先行しているため収益獲得に至っていない創業直後の事業単位を含んでおり、このような事業単位については、最高経営意思決定者は、将来の収益を通じて投資コストを回収できるというリスク及び経済価値を前提に、経営資源の配分の決定及び業績の評価を行っております。

2016年11月10日付で当社はアクセルマーク株式を一部売却したことにより、同社及びその子会社は当社の連結対象から除外され、持分法適用関連会社となりました。なお、ノンコア事業は、同社及びその子会社により独立した事業分野として運営しております。その業績は前第1四半期連結累計期間及び2016年10月1日から支配喪失日までの期間において非継続事業として表示しているため、IFRS第8号「事業セグメント」の開示要求は適用しておりません。

ロ. 報告セグメントの損益の測定に関する事項

セグメント利益は、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整したNon-GAAP営業利益を使用しております。

なお、当社グループは、全ての取引について総額により表示した収益を「売上高」として任意開示しております。売上高は、IFRSに準拠した開示ではありませんが、経営者は当該情報が財務諸表利用者にとって有用であると考えていることから、連結純損益計算書及びセグメント情報に参考情報として任意で開示しております。

報告セグメント間の取引における価格は、外部顧客との取引価格に準じて決定しております。

ハ. 報告セグメントの損益に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2015年10月1日 至2015年12月31日)

(単位:千円)

	ネット マーケティング	メディア コンテンツ	合計	調整額 (注) 2	連結
セグメント収益	3,244,915	116,368	3,361,283	△46,203	3,315,080
セグメント利益又は損失(△) (注) 1	1,258,268	△193,576	1,064,692	△92,341	972,351
セグメント売上高	17,242,079	116,368	17,358,447	△98,300	17,260,147

(注) 1 セグメント利益は、Non-GAAP営業利益を使用しております。

- 2 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2016年10月1日 至2016年12月31日)

(単位:千円)

	ネット マーケティング	メディア コンテンツ	合計	調整額 (注) 2	連結
セグメント収益	3,434,350	205,526	3,639,876	△53,522	3,586,354
セグメント利益又は損失(△) (注) 1	1,165,814	△218,843	946,971	△132,216	814,755
セグメント売上高	18,431,666	205,526	18,637,192	△188,897	18,448,295

(注) 1 セグメント利益は、Non-GAAP営業利益を使用しております。

- 2 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用が含まれております。

セグメント損益から税引前四半期利益への調整表

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年10月1日 至 2015年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)
セグメント利益(Non-GAAP営業利益)	972,351	814,755
その他の損益(純額)	△6,792	△43,846
金融損益(純額)	4,946	△74,429
持分法による投資利益	27,283	50,606
税引前四半期利益	997,788	747,086